

研修報告書 N o 16

横浜市立大学医学部附属病院 研修医

研修施設：いの町立国保仁淀病院

仁淀川町国保大崎診療所

大学も研修先も都心に近い場所のため、今まで「地域」と呼ばれる場所の医療に触れる機会がなかったこともあり、地域医療研修では他県での研修を希望し、その希望の一つであった高知県で1ヶ月研修をさせていただくことになりました。今回、研修させていただいたのは仁淀病院と大崎診療所の2病院です。

仁淀病院は、病床数100床、医師は12名の病院で、比較的高知市に近いところにあります。病床の半分は介護療養型病床で、病院の近隣には、介護老人福祉施設、特別養護老人ホームがあります。ここでは主に外来見学・診療および病棟業務に携わりました。患者さんは70～80歳台の方が多く、隣接する施設に入所している方も施設の方と共に車椅子で来院される事も多いです。初めて外来見学をさせて頂いた時驚いたことが、高血圧のためだけに通院している方が少なくないことです。もちろんこれはおかしい事ではないのですが、大学病院に来られるようないくつかの合併症を抱えた患者さんを診ていた私にとっては衝撃的でした。また、患者さんと医師の関係が非常に近く、診察は終始なごやかで、患者さんにとって何でも相談しやすい医師が身近にいることは心強いのだろうと感じました。救急疾患に関しては高知市内の病院に行く方が多いようで、超急性期疾患などを診る機会はありませんでしたが、初診患者さんもたくさんいらしており、そちらの診療に関わることができました。病棟業務では、内科がさらに専門科にわかれているわけではないため、いろいろな内科疾患の入院患者さんを診ることができるのも非常に勉強になった点でした。

大崎診療所では、第3週目に4日間研修させていただきました。ここは高知市から車で70分程度のところに位置する仁淀川町にある診療所です。病床数8床で、内科医師2名、歯科医師1名が勤務している診療所です。同じく病床の半分は介護療養型病床です。こちらでは外来見学・診療の他に、訪問診療や訪問リハに参加させて頂きました。仁淀川町は山に囲まれた地域で、患者さんの自宅も山の頂上に近いところにある場合があります。比較的元素な患者さんは自分や家族の車で病院に通われますが、独り暮らし、老老介護の方が通うのは難しいです。そういった患者さんの家に先生方と一緒に車で訪問するのですが、患者さん自身や家族の生活、患者さんと家族の関わり方を知ることができたことは、新鮮で貴重な体験となりました。たった4日間の研修ですが、研修2日目には歓迎会を開いていただきました。この歓迎会には病院スタッフ以外にも、仁淀川町の町長、副町長、診療所に隣接する仁淀川町役場保険課のスタッフもいらっしゃるなど豪華な会でした。役所の方と医療の話をするなど滅多にないことであり、高知の今後の医療などについての話も非常に興味深いもので、また高知のお酒の文化に触れることができ、貴重な場を作っていただいたことをありがたく思っています。

休日は毎週観光に出かけ、桂浜、四万十、室戸などで観光名所を楽しみ、また地元の美味しい物を食べ、高知を堪能することができたのも良い思い出です。

1 カ月といった非常に短い期間でしたが、この 2 病院での研修を通して、地域医療の多様性を感じることができました。また、普段は関わることのない介護保険施設や訪問診療・訪問看護にも触れるいい機会になりました。高知県全体が大きな街ではないのは事実ですが、そこで医療に携わる先生方は非常に勉強熱心で、都会と地域で医療の質の違いは全くないように感じました。私も、「質の差」をつくることがない様、生涯勉強をしていかなくてはならないと強く思います。4 月からは内科医として市中病院で働くこととなりますが、この 1 ヶ月で得られたものを活かしていきたいと思います。

先生方、病院スタッフの皆様、そして高知医療再生機構の方々、1 ヶ月お世話になりました。ありがとうございました。